



学校評価について

校長 内田 辰彦

昨年12月に今年度の二小の教育について、保護者の方・児童から学校評価アンケートを実施しました。150件のご家庭から回答をいただき、家庭数における回答率は41.4%でした。ご協力いただき感謝いたします。

教育目標「かしこく」の項目については、7項目のうち6項目で回答の9割以上が肯定的な回答になっていました。1つの項目「子供は、自らがめあてをもち、学習の見通しをもって学習を進めている。」については、肯定的な回答が77%となっています。この項目は子供たちに学びに向かう人間性を養う上で大変重要な項目であると捉えています。この点については、次年度も引き続き日々の授業を通して子供たちの力がつくように指導していきます。

教育目標「あたたかく」の項目については、6項目のうち5項目で回答の9割以上が肯定的な回答になっていました。1つの項目「学校は、あいさつ指導、廊下歩行等を中心に規範意識を育てる指導を組織的、計画的に進めている。」については、肯定的な回答が89%となっています。この項目は、学校で行う特別支援教育について、保護者の方への理解・啓発の度合いを示していると捉えています。今後の更に分かりやすい説明に努めていきます。また、9割以上の肯定的な回答をいただいた中でも「学校は、あいさつ指導、廊下歩行等を中心に規範意識を育てる指導を組織的、計画的に進めている。」の項目については、登下校中の挨拶について、十分でないのご意見もあります。どんな時でも気持ちのよい挨拶ができるよう指導していきます。

教育目標「つよく」の項目については、3項目のうち全ての項目で回答の9割以上が肯定的な回答になっていました。健康教育や感染症対策などは引き続きご家庭の協力をいただきながら進めてまいります。また、登下校中の安全対策については、来年度は学校・子供・保護者・地域が一体となった安全体制のしくみをつくり、取り組んでまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

ICTの活用についての項目では、2項目のうち全ての項目で回答の9割以上が肯定的な回答になっていました。ただ、自由意見の中には、Chromebookの持ち帰りに関する意見も多くありました。子供たちが自らルールを守って活用できる力をつけられるよう、情報モラルの醸成に注力するとともに、持ち帰った際の効果的な活用方法についても新たなチャレンジをしていきます。

自由意見欄には108件の回答をいただきました。その多くは、学校教育への理解を示していただいたり、感謝の気持ちを伝えていただいたりしたものでした。ありがとうございます。また、次年度に向けた具体的な改善策なども示していただき、大変参考になりました。

これらの結果は先般行われた、学校評議員会の中で報告しました。アンケート結果やご意見を踏まえ学校としての改善策を示し、そのことについて評議員の方からご意見をいただきました。評議員会での評価や保護者の方・子供たちのアンケート結果を尊重して、次年度の計画を策定していきます。ありがとうございました。アンケートの詳しい詳細は別紙をご参照ください。

